

横浜の企業 本県でモニターツアー展開

ウェブサイトの制作などを手がけるともクリエイションズ(横浜市)は、秋田港に寄港したクルーズ船の乗客を対象としたモニターツアー事業を展開している。秋田の文化を体験してもらい、伝統工芸品などの消費拡大につなげたい考え。インバウンド(訪日客)の地方誘客に向け観光コンテンツ創出を支援する観光庁の補助事業に採択された。

渡邊桃伯子社長(66) 秋田市出身は「多くの人が秋田の伝統工芸に触れる機会を設け、世界に広めていきたい」と話している。

同社はVR(仮想現実)で県内の伝統工芸品を見てオンラインショップで購入できるアプリ「VRギャラリー」を開発し、

伝統工芸品 販売後押し



あきた舞妓の踊りを楽しむクルーズ船の乗客

ツアーでもアプリを紹介。渡邊社長は「VRギャラリーを使えば細かい部分もきれいに見えるので、クルーズ船客が秋田を離れた後も購入につな

クルーズ船客に文化PR

ながつてほしい」と話す。12日には、秋田港に寄港した国際クルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」の乗客を対象としたモニターツアーを実施。主催は能代観光で、午前の部には45人が参加。3グループに分かれ、組子細工や川連こけしの絵付けを体験したり、劇団わらび座の俳優からソラン節などを教わったりしたほか、あきた舞妓の踊りやお座敷遊びを楽しんだ。

米国から訪れたチャールズ・デイデリクサンさんは「初めて秋田に来た。あきた舞妓はすごく美しくかわいらしかった」。夫婦で参加した横浜市の上山倫生さんは「秋田は今年2回目。普段できない経験ができた。竿燈の時期もクルーズ船で来る予定で楽しみに話した。」

モニターツアーは今後、クルーズ船が秋田港に寄港する9月28日と10月5日にも実施する予定。(神谷紗耶加)

本県ガソリン

レギュラー

経済産業省が26日24日時点のレギュラーガソリンの全国平均価格は、前週調査より174円80銭だけ下がりは10週連続で、今年6月以来約13カ月値。サウジアラビア産油国の減産で原油

経済プラス

出身地の文化を世界に広めたい

観光庁はインバウンド(訪日客)の増加が見込まれる中、地方への誘客や観光消費拡大を促進するため、観光コンテンツ創出を支援する事業を実施している。本県で取り組みを開始したのもクリエイションズ

渡邊 桃伯子社長(66)



「AKITA」で伝統工芸品を紹介するVRギャラリーのブースを出した経験があり、出身地である秋田の伝統工芸品や文化を世界に広めたいと

思っていた。秋田県と横浜市がクルーズ船に関する連携協定を締結していたことや、秋田市を拠点に活動する市民団体「クルーズ船ファンクラブ」と知り合ったことで、クルーズ船とコラボし実施しようと考えた。

「モニターツアーの魅力は。観光客が秋田の伝統工芸品制作などを実際に体験できる。工芸品ワークショップでは自分で作った作品を持ち帰ることができ、思い出づりになる。モニターツアーではVRギャラリーをインストールしてもらっているので、秋田を離れた後も県内の伝統工芸品の購入につながる可能性がある」

「事業の狙いは。秋田のファンを増やしていきたい。体験を通して秋田のことを知ってもらい、『次回は秋田で何を体験しようかな』といったリピーターが欲しい。VRギャラリー利用者を増やしていくことも狙いの一つ」

「今後の目標は。ツアー内容を充実させたい。秋田の食や日本酒を味わってもらったり着物を着る体験をしても良かったりするなど、より多くのことができるように考えていきたい」

秋田経済同友会の会が26日、秋田市のツルホテルで開かれた秋田支店下村長が「秋田支店開設現在地と今後の展望」を講演した。洋上風業への貢献などに触れ、地元と一緒にデジタルを目指す」と訴え、約40人が耳を傾けた。同社は昨年4月で導入が見込まれる発電事業の営業体制を目的に、国内ではとる支店を秋田市「グループの知見を事業に携わるためにとの連携や人材育成